

## 平成 30 年度 ( 国語科 ) 授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な漢字習得の個人差が大きい。</li> <li>・レポートを書かせた際、体裁を整えることに課題が見られた。</li> <li>・学習内容や学習方法についてなどを意識させ、自律的な学習姿勢を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字ノートを用いた漢字小テストの計画的な実施や、長期休業時の課題を今後も設定する。</li> <li>・自由に書かせるだけでなく、文章のジャンルや求められる量に合わせた書き方を意識的に指導する。</li> <li>・学習自体を客観的な視点で捉えさせ、学習内容や方法を共有し合う活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習が必要な生徒には、別途小学生段階の漢字も含めて復習させる。</li> <li>・書く単元だけでなく、各単元で書く課題を適宜入れ、様々な文書を書かせる。</li> <li>・ペア、4人グループなどの少人数活動を取り入れ、学習内容や学習方法について言語化し、共有し合う。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作文を書かせた際、原稿用紙の使い方などの基本的な事項をあまり復習しなかったため、それらができない生徒が見られた。</li> <li>・授業の中で書いたものを回し読みして交流することが多く、話し合っただけで交流することが少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がわかっていることと、わかっていないことを的確に把握する。積み重ねができていない生徒のことも想定して補助的な指導の用意もする。</li> <li>・生徒は音声より文字で交流することを好むが、忍耐強く会話による交流の機会を確保していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期休業中に補充教室を実施し、既習事項の復習をする。</li> <li>・放課後に質問教室を開き、生徒一人一人のつまずきに応じた指導をする。</li> <li>・家庭で復習できるような追加資料を用意し、必要に応じて参照できるようにする。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読み、自分の考えを形成する力が不十分な生徒がいる。</li> <li>・言語の知識や能力の定着に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに学習の振り返りをクラスで集約し、思考や表現の方法を学び合う。</li> <li>・漢字テストの結果に応じて個別に課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着目すべき観点をより具体的に示して考えを書かせる。</li> <li>・既習事項も含めて基礎的な部分から復習させる。また定期考査前や夏季休業中に補充教室を設け、知識の定着を図る。</li> </ul>